

審判

予選のリーグ戦(各チーム最低2試合)は、今回11チームなので変則的になります。
従って、審判も変則的になり予選及び準決勝の審判に、ご協力をお願いします。

A面 第1試合は第2試合のチーム
第2試合は第1試合のチーム
第3試合は第4試合のチーム
第4試合は第3試合のチーム
第5試合は第6試合のチーム
第6試合は第5試合のチーム

B面 第1試合は第2試合のチーム
第2試合は第3試合のチーム
第3試合は第4試合のチーム
第4試合は第5試合のチーム
第5試合は第1試合のチーム

準決勝については、A・Bブロック敗者チーム(各2名の4名で)

決勝については、準決勝の敗者チーム(各チーム2名の4名で)

試合形式

各チーム最低2試合行う。

予選は1試合30分間。または5回までとする。(試合途中で時間が来てしまった場合は、裏のチームが負けている場合、表の攻撃途中であればその回の裏までとする。)

準決勝及び決勝は40分間、もしくは5回までで終了。

※Cブロックについては、2チーム選出(B面第5試合終了後直ぐに決める)

ルール

基本的には、野球のルールで行う。(ソフトボールでは細部において野球と違い、親しみが少ないため)特別ルールは以下に示す。

- 1.パスボール及びワイルドピッチ等のバッテリーエラーは適用しない。プレーを止めてランナーの進塁はなし。振り逃げもなし。
- 2.盗塁はなし。離塁については、打者が打つまで行わない。(ピッチャーの手からボールが離れてからではない。)
- 3.悪送球は、藪、ベンチ等の障害物に入った時点でテイクワンベース。障害物に入った段階で次塁に到達していた場合は、次塁からテイクワンベース。
その判断は**主審**が行う。
- 4.審判の判定には抗議をしない。ただし、アマチュア審判なので誤審が明らか
な場合のみ、判定をした審判以外が指摘すれば、審判団協議で最初の判定を
覆してもよい。

明らかな誤審とは、最寄の審判が確認できなかった事象(落球やフライ捕球時のバウンド等)又は、判定した審判がルールを知らない場合についてのみで、
ストライク、ボールの判定、ホースプレー及びタッチプレー等のタイミングに関するものは最寄の審判の判定がになる。

ルール解説

野球のルールで行うが、親しんでるとはいえ理解してない物もあると思われるので、2例のみ解説します。

1. ストライクゾーン

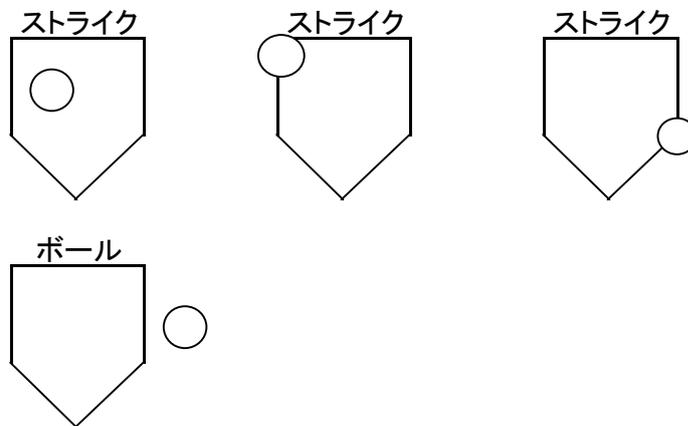
ストライクゾーンは横方向では、ホームベースの一部でもボールがかすめた場合。

縦方向は、バッターが打つ体制をとった姿勢で、上が肩とベルトの間点(だいたい乳首付近)より下にボールが完全に入った場合。

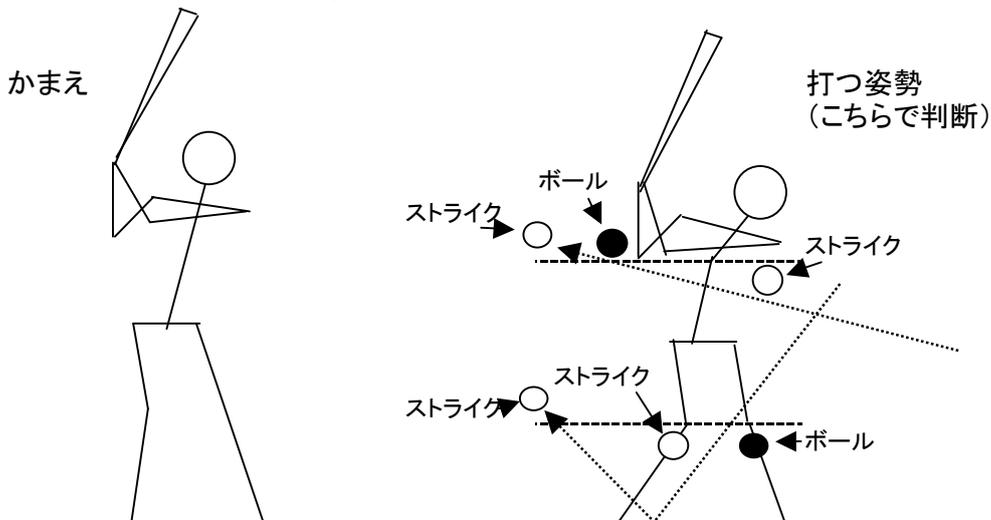
下はひざをかすめた場合。ただし、通常に打つ姿勢で判断する。

バンドや極端にしゃがむといった姿勢では通常に直して(頭の中で)判定する。

ストライクゾーン横方向図解



ストライクゾーン縦方向図解



素人審判ですので上記のとおり判定するのは難しいと思います。各自の感覚によるとは思いますが、横方向については悩むくらいの時はストライクで、縦方向はベース上又はそれより手前でワンバウンドした球は全てボール。同じコースは、試合を通して同じ判定をする。

破線矢印の軌道は極端ですが、ソフトボールの場合はありえます。

2.インフィールドフライ

インフィールドフライは主審が宣告します。宣告した時点でバッターはアウトです。以下にインフィールドフライが成立する条件を説明します。

条件

ノーアウト及びワンアウトでランナーが1塁、2塁若しくは満塁。

インフィールド(芝生と土の境)内にフライが揚がった場合に直ちに宣告します。ファールになるかもしれない時には「インフィールドフライ イン フェアー」と宣告し**ファールゾーンで落球した場合は、ファールでバッターアウトになりません。**

インフィールドフライが宣告されるとバッターはアウトになりますが、その他のプレーは止りません。また、宣告された時点でランナーの進塁義務がなくなるので、元の塁にいれば、落球してもそのまま元の塁にいればセーフです。

尚、前述の通り宣告されればファール以外ではプレーは止らないので、フライを捕っても落球しても離塁していればタッチプレー又はアピールプレイでランナーはアウトになります。ただし、バントの時はインフィールドフライを適応しません。